

### 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	お買物無料送迎バスすまいる号運行事業
事業主体 (連絡先)	宮川地区社会福祉協議会 (宮川地区コミュニティセンター)
事業区分	保健、医療、福祉の充実
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,913,188円 (うち支援金: 1,040,000円)

#### 事業内容

「買物に行きたくても交通手段がないため自由に買物をする事ができない。」という地区内の声に応え、当協議会が掲げている目標の一つである“支え合いのまちづくり”の一環として、お買物無料送迎バスを運行する。



【金沢便の様子】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①当協議会では、誰もが「尊重」され、誰もが「安心」して暮らせる宮川地区を目指し、みんなで考え、みんなで支えあえる地域づくりを目的としており、その具体的な活動として事業を実施。
- ②買い物弱者支援のため、利用対象者の決まりを設定し、地区内で当事業に賛同した商業施設への無料送迎バスを運行。

今年度は、隣接する金沢地区へ運行を延長した。

- ③買い物のために外出して多くの人と接し、商業施設を自分で歩いて欲しい商品を自分で選ぶことは、心と体を刺激し、生活や脳の活性化の効果が期待でき、高齢者の生活の自立及び介護予防につながると思う。実際に、利用者からは、外出をすることで人と出会えること、おしゃべりをする事で気持ちがリフレッシュできるとの感想がある。

#### 【目標・ねらい】

- ①支え合いのまちづくりの構築
- ②買い物弱者対策
- ③高齢者の生活自立・介護予防対策

※自己評価 【 B 】

#### 【理由】

事業収入として、地区内事業者に協力していただき広告料収入を得た。しかし、今後事業を継続するには、受益者負担等が必要なため。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

買い物弱者支援として一定の効果が出ている。バスの車体へ企業広告を出すことで事業収入を得たが、今後も継続的に事業を実施するには、事業資金の捻出が一番の課題となる。受益者(利用者)からの負担検討のためアンケート調査を実施。利用者から受益者負担について概ね理解を得られると考えるので、次年度事業中に実施したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある